

初心者でも作れる



「やさしい日本語」実践の ガイドライン



山口大学 国際総合科学部
2023 協同組合 維新PBL

指導教員： 永井涼子先生
企画制作： 岩永未有 上田佳奈 岡本葵 付澤南 三谷真依

(2) 言葉の表現に関するルール	21
⑧よく使われる言葉や知っておいた方が良い言葉はそのまま使う	
⑨外来語はなるべく使わない	
⑩ローマ字はなるべく使わない	
(3) 日時の表記に関するルール	22
⑪時間は「午前・午後」を使って、12時間表記にする	
⑫年月日の表記は「/」（スラッシュ）を使わない	
⑬時間、年月日の表記は「～」を使わない	
3. 「やさしい日本語」判定ツールの活用	23
代表的な判定ツール	23
ツールを使用するときのポイント	24
各ツールの特徴	25
4. フォントの種類、ふりがな、分かち書き	26
フォントの種類	26
ふりがな	26
①ふりがなの大きさ	
②ふりがなと漢字の間隔	
③ふりがなの位置	
分かち書き	27
ルール1 文節で余白を空けて、区切る	27
ルール2 「つなげる語群」は分かち書きにしない	27
その他 ①「～がない」は分かち書きにする	28
②連体修飾語は分かち書きにする	
③日付や頻度を表す表現は分かち書きにしない	
5. 体裁、見た目を整える	29
①イラストの使用	29
②写真（地図）の使用	29
③レイアウトの工夫	30
6. その他	31
付録：「やさしい日本語」言い換えリスト	32

やさしい日本語とは

やさしい日本語が使われるようになったきっかけは、1995年に起きた阪神・淡路大震災です。当時、日本人だけでなく日本にいた多くの外国人も被害に遭い、その中には日本語と英語を十分理解できずに情報をうまく受けとることができなかった人もいました。それ以降、外国人の方にも災害発生時に情報をわかりやすく伝達し、適切な行動を促せるようにという思いからやさしい日本語が考え出されました。

そこで、出入国在留管理庁と文化庁は、2020年に「在留支援のためのやさしい日本語ガイドライン」を作成し、やさしい日本語について以下のように説明しています。

やさしい日本語は、難しい言葉を言い換えるなど、**相手に配慮したわかりやすい日本語**のことです。日本語の持つ美しさや豊かさを軽視するものではなく、外国人、高齢者や障害のある人など、多くの人に日本語を使ってわかりやすく伝えようとするものです。

やさしい日本語を使う際には、対象にする外国人の言語背景や日本語能力などに応じて、柔軟に調節する必要があります。そのため、このガイドラインではあえて厳密な基準は示していません。

出入国管理庁、文化庁「在留支援のためのやさしい日本語ガイドライン（2020年8月）」より

<https://www.moj.go.jp/isa/content/930006072.pdf>（参照2023.12.20）

これから、やさしい日本語とは、外国人だけでなく、日本人にとっても分かりやすい文章のことで多くの人々にとって役立つものであることが分かります。一方で、やさしい日本語に使われる単語や文法のレベルについては統一された基準が設定されていないことから、やさしい日本語の文を自分で考え、使用することが難しいという一面もあります。このような一面から、普及が進んでいないという現状課題がありますが、様々な国・地域から外国人が訪れる日本には、今後、やさしい日本語が必要不可欠であると考えられます。その理由は主に2点考えられます。

1点目は、多言語翻訳の手間が省けるという点です。多言語翻訳をすれば、母国語でより正確に、細部まで情報を理解しやすいという利点があります。しかし、現在日本で暮らす外国人の国籍は多様化してきており、新しく多言語翻訳をするのにも労力がかかります。母国語でなくても、日本語を学んでいて、やさしい日本語なら理解できるという外国人も少なくありません。そこで、やさしい日本語を使用することで多言語翻訳の手間が省け、外国人にとっても分かりやすいものを作成することができます。

2点目は、機械翻訳の精度が上がるという点です。機械翻訳は利便性が高いですが、日本語の文章が複雑になるほど、その精度は落ちる可能性があります。そして、大きな誤解を招く危険性も考えられます。そこで、構造が単純なやさしい日本語を機械翻訳することで、翻訳の精度があがるというメリットがあります。

このように、やさしい日本語は、多くの人にとって分かりやすいもので、多言語翻訳の手間が省けたり、機械翻訳の精度があがるなどのメリットがあるものです。しかし、先述したように、基準があいまいで作成することが難しいという面もあります。そこで、私たちはこのガイドラインを通して、初心者でもわかりやすい、やさしい日本語化の手順を紹介します。

プロジェクト・ガイドラインの目的とターゲット

まず、私たちのプロジェクトについて説明します。私たちは、ごみ分別に困っている外国人が多いことを知り、山口市のごみ分別に着目しました。そして、「山口市ごみ・資源の分け方」をやさしい日本語に言い換えた新たなごみ分別チラシを作成することで、外国人の生活を支援するプロジェクトを行いました。

ターゲットを設定するにあたって、以下のことを考慮しました。

- ・山口県の在留外国人の出身国・地域は東南アジアが増加傾向にある
- ・ごみ分別に特に困る時期は、まだ日本での生活に慣れていない来日直後である

この2点から、私たちのプロジェクトのターゲットは、「来日直後であり、かつ非漢字圏出身の外国人」としました。また、このターゲットが理解できる日本語レベルは、日本語能力試験（JLPT）のN4・N5程度であると想定しました。国際交流基金（JF）と日本国際支援協会（JEES）は、N4・N5のレベルを以下のように説明しています。

	N4	N5
レベルの目安	『基本的な日本語を理解することができる』	『基本的な日本語をある程度理解することができる』
理解できること	『基本的な語彙や漢字を使って書かれた日常生活の中でも身近な話題の文章を、読んで理解することができる』	『ひらがなやカタカナ、日常生活で用いられる基本的な漢字で書かれた定型的な語句や文、文章を読んで理解することができる』

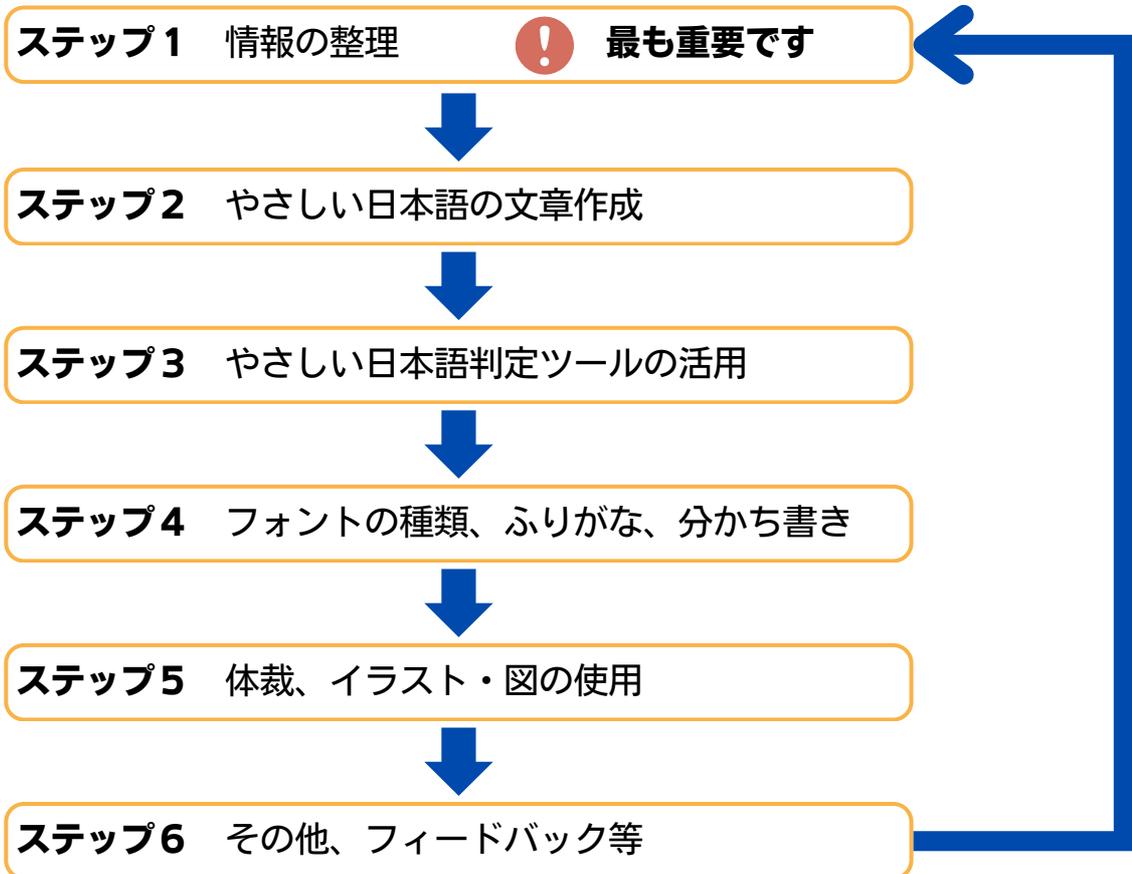
N1～N5: 認定の目安 | 日本語能力試験 JLPT (n.d.)
. <https://www.jlpt.jp/about/levelsummary.html> (参照2023.12.19)

このことから、N4・N5は、簡単な漢字、そして簡単な文章の構造を理解できるレベルであると考えられます。そこで、私たちは簡単な語彙や文章構造を用いることでやさしい日本語化に取り組み、日本語レベルがN4・N5相当の外国人に向けたごみ分別チラシを作成しました。

このガイドラインでは、ごみ分別チラシ作成にあたって、私たちが取り組んだやさしい日本語化の手順を紹介します。やさしい日本語化に取り組もうとされている方や、やさしい日本語を難しく感じておられる方などに参考にさせていただきたいと考えています。このガイドラインがやさしい日本語化に取り組むきっかけとなれば幸いです。

やさしい日本語の文章を作成する際に気をつけるべきポイントや手順、他のやさしい日本語に関するガイドラインで参考にできる点、やさしい日本語判定ツールの紹介などは2章以降で詳しく紹介します。

「やさしい日本語」作成の簡単な流れ



上の図は、私たちが「やさしい日本語」を作成する際に、実際にどのような手順で作成したのかをまとめたものです。私たちは、「やさしい日本語」を作成するうえで、**情報の整理**が最も重要なステップだと考えています。その理由は、必要な情報のみに絞ることで、文全体の量を少なくし、読み手側の負担を減らすだけでなく、伝えたい情報をそのまま正確に伝えることができると考えたからです。

このページ以降では、ステップの中でもさらにいくつかの段階に分けて説明しています。

1. 情報の整理

ステップ1 ヒアリング（できない場合は推測）

情報の受け手となるターゲットを想定して、どんな情報があると良いと思うかを聞き取り調査します。私たちのプロジェクトでは外国人側と日本人側、両方にヒアリングを行いました。

ヒアリングをする前の準備として、以下の手順が挙げられます。

- ① 誰に対して何を聞きたいか、またその結果で明らかにしたいことは何かを考える。
- ② 質問する事項を書き出し、どのような順序で聞いていくかを決める。
- ③ どのような方法でヒアリングするかを決めておく。
（例：対面で一人または複数人集めて質問するか、オンラインで実施するか等）
- ④ 当日の聞き出した内容をどのようにまとめるかを決めておく。
- ⑤ インタビュー対象者とのヒアリング日時調整をする。

私たちの場合、外国人側は留学生、技能実習生や国際交流員を対象にして、日本語の表現、日本におけるごみ分別に対する印象などを質問しました。

そして、外国人側のみならず、私たちはごみ分別に携わる日本人側として、山口市資源循環推進課に、ごみを収集する側の目線で最低限守ってほしいルールや気をつけてもらいたいことなども質問しました。次のページから詳しい質問内容と、その回答について一部抜粋し、紹介していきます。

外国人へのヒアリングの質問内容とその回答

①留学生へのヒアリング

②技能実習生へのヒアリング

③山口市国際交流員へのヒアリング



- ・対象者の国籍：台湾、中国、韓国、ラオス、インドネシア、オーストラリア、ベトナム、ミャンマー、スペイン
- ・対象者の日本語レベル：N1、N2、N3、N4、N5

質問内容

○ごみ分別に関する質問

- ①来日直後によく捨てていたごみ、最近捨てたごみ
- ②捨てたことがないごみ
- ③間違って分別していたごみ
- ④ごみ分別で困ったこと
- ⑤ごみ分別で困ったときの対処法
- ⑥日本のごみ分別に対する考え
- ⑦母国とのごみ分別の仕方の違い

○「山口市 ごみ・資源の分け方」に関する質問

- ①細かい表現でわかるところ、わからないところ
- ②改善するべき点、改善案（どこを直せばもっと見やすくなるのか）

回答の一部

○ごみ分別に関する質問への回答

- ①燃やせるごみ、プラスチック、段ボール、びん・缶、ペットボトル等
- ②粗大ごみ、発泡スチロール等（滞在歴や職業、個人の生活スタイルに依存する）
- ③わからないごみはすべて燃やせるごみに捨てていた。
歯ブラシをプラスチックに捨てていた。
- ④困ったことはないが、紐で結んだり、切り開いたりするのが面倒くさい。
- ⑤知り合いに聞く（友達、職場の先輩、家族等）。とりあえず捨てる。
- ⑥分別は面倒くさいが、環境には良いと思う。
- ⑦母国では日本ほど細かくごみの種類が分かれていない。

○「山口市 ごみ・資源の分け方」に関する質問への回答

- ①水を切る、一辺、対象、口を結ぶ等の意味が分からない。
（N4レベル以下は漢字全般が難しいと回答）
- ②ごみのイラストと合致する実際のごみの判別がしづらい。

山口資源循環推進課へのヒアリング



質問内容

- ①ごみを収集する側として最低限守ってほしいこと
- ②外国人からの問い合わせの有無

回答の一部

①ごみを収集する側として最低限守ってほしいこと

⇒ルール違反のものは収集しない。自治体の人から後から分けることがある。

- ・絶対にルールを守って捨ててほしいごみ
スプレー缶とモバイルバッテリーは燃やせるごみと燃やせないごみに入れてしまうと発火して危ないため守ってほしい。
(実際にごみ収集車が燃えてしまうという事故が発生している。)
他のごみに燃やせるごみを混ぜない。
- ・リサイクル
燃やせるごみが入っていると収集できないことがある。
特にびんや缶の分別方法を守ってほしい。

②外国人からの問い合わせの有無

⇒ほとんどない。(電話のハードルが高いからという理由が考えられる。)

ステップ2 情報を取捨選択する

ヒアリングするのは外国人だけに限らず、外国人と関わる日本人側も対象にすると良い場合があります。

既存のもの（私たちのプロジェクトでは「山口市 ごみ・資源の分け方」）から、やさしい日本語版を作成する時に、ステップ1の結果から**要らないと考えられる情報は除きます**。すべての情報を載せると、情報量が過多になり、重要な事柄が読み取る側に伝わりにくくなる可能性があります。また、**情報を絞った後はその中でも優先順位をつけておきましょう**。

私たちはまず、ヒアリングから得た情報をまとめ、複数人から指摘されていた内容を最も優先度が高い情報として載せることにしました。



取捨選択する時のポイント

・日本人の感覚や、思い込みを頼りに情報を絞らない

私たちが作成した成果物である「山口市 とてもやさしいごみの捨て方」等の試作品を作成している段階では、私たちの感覚で載せる情報を取捨選択していました。

しかし、ヒアリングを行った結果、「これなら書かなくてもわかるだろう」という思い込みで情報を絞ってしまっており、外国人の方にとっては必要な情報まで見逃してしまっていたことが分かりました。そのため、情報を選択する際には、ターゲットの意見を参考にすることが大切です。

私たちが載せないと判断した情報

具体例

①粗大ごみ

ヒアリングの結果、粗大ごみは日本に長く住んでいる方でも捨てたことがない方がほとんどだったため、載せないことにしました。

②燃やせるごみ（衣類）

衣類も載せるようにしていましたが、ヒアリングの結果、来日直後はほとんど捨てないことが分かったため、載せないことにしました。

③問い合わせ先の電話番号

ヒアリングの結果、電話するにはある程度の日本語能力が必要であり、電話をかけるのはハードルが高く、かけたことがないと答えた方がほとんどでした。さらに、山口市資源循環推進課の方にもお話を伺いましたが、外国人の方から問い合わせがあったことはほとんど無いとのことだったため、載せないことにしました。

ステップ3 情報を付け加える（必要な場合）

既存のものには載せられていなくても、**ヒアリングの結果から、ターゲットにとって必要な情報は新しく追加しましょう。**

（私たちの場合は来日直後の外国人の方が主な対象であるため、来日直後で特に困りそうなポイントを考えて新しく情報を付け加えました。）

このように、やさしい日本語化に取り掛かる前に上記3つのステップを踏んで、まずは載せたい情報を整理しておくといいでしょう。私たちがヒアリングの結果から追加した情報は以下の表のとおりです。

具体例

・スプレー缶やモバイルバッテリー

外国人の方へヒアリングした結果、全員が捨てたことがないと回答したため、情報として載せないことにしていましたが、山口市資源循環推進課へのヒアリングで特に守ってほしい分別として挙げられていたため、結果載せることにしました。

・リサイクル

外国人の方で、服などを捨てるのがもったいないと答えた方がいました。リサイクルについての情報は載せない予定でしたが、リサイクルするという選択肢もあることが示した方がより有益な情報になると思い、載せることにしました。

・注意書き（割れ物、スプレー缶・モバイルバッテリー）

外国人の方へのヒアリングで、どうしてびんの色を分けて分別するのかわからないという意見がありました。今回、びんの色を分ける理由については情報を載せていません。しかし、注意書き等を書いているにもかかわらず、その理由が理解できないと、そのまま分別してしまうことがあるようです。そのため、他の場面で分別方法を書く際には、注意書きと注意する理由を併せて載せることにしました。

1☑ ^{ぜんぶ} ^{つか}
全部 使います。



^ひ ^も
火が つくと 燃えます。
^き
気をつけて ください。



2☑ ^か
キケンと 書きま
す。



^{あつ} ^{ひと}
ごみを 集める 人が けがを します。

・「山口市 ごみ・資源収集カレンダー」の見方

カレンダーについての情報は載せない予定でしたが、外国人の方へのヒアリングでカレンダーを持っていて、「山口市 ごみ・資源の分け方」を持っていない方が複数名いたため、カレンダーについての情報も載せることにしました。また、カレンダーの見方がわからないという意見もあったため、見方も簡単に説明することにしました。

2. 「やさしい日本語」の文章作成

次に、情報整理の段階で絞られた情報を伝えるための文章を、自分なりのやさしい日本語で考えてみましょう。以下、文章作成のステップとともに、やさしい日本語化におけるルールを紹介합니다。参考にしてみてください。

ステップ1

情報を伝えるために必要な文章を、通常の日本語の文章で考える
(既にやさしい日本語化したい文章が決まっている場合は不要)

ステップ2

ステップ1で考えた文章において、さらに分かりやすく言い換えることができそうな単語や表現を自分なりに言い換える

※漢字の使用について

やさしい日本語では、可能な限り、漢字を使用しないことが推奨されている場合があります。

しかし、私たちは、以下に示す理由から、日本人でも読むことが難しいと思われるような、難易度が高い漢字や、通常ひらがなで表記されることが多い表現(もの、こと、とき…)を除き、**基本的には漢字にふりがなをつける形で統一**しました。

漢字+ふりがな表記に統一した理由

- ・ 翻訳ツール等にかけた際、翻訳の精度が高くなる箇所がある

翻訳ツールを使用する場合、漢字表記の方が単語として認識されやすくなり、正しく翻訳される可能性が高まります。

- ・ 漢字を覚えることに役立つ可能性がある

よく使用される漢字は、漢字で認識できた方が、日本で生活するうえでは役立つことが考えられます。ふりがながあることで、漢字が読めなくても意味は調べることができます。

ステップ3

「やさしい日本語ルール」を参考にして、さらに言い換える

ステップ2で、日本人として感覚的に分かりやすく言い換えた文章が、ターゲットにとっての「やさしい日本語」となるように、「やさしい日本語」におけるルールを参考にします。

「やさしい日本語」におけるルールでは、ターゲットの日本語学習の段階や、文化の違いから起こりうる解釈の違いなどが考慮されています。

次のページより、各自治体等が作成しているガイドライン等にある、やさしい日本語化における基本的なルールを紹介します。参考にしてみてください。

私たちの「やさしい日本語ルール」作成のための参考文献

以下のものを参考にし、私たちの「やさしい日本語ルール」をまとめました。

- ・出入国在留管理庁,文化庁. “在留支援のためのやさしい日本語ガイドライン”
<https://www.moj.go.jp/isa/content/930006072.pdf>, (参照2023.12.19)
- ・横浜市 国際局政策総務課 市民局広報課. “「やさしい日本語」で伝える 分かりやすく伝わりやすい日本語を目指して”
https://www.city.yokohama.lg.jp/lang/residents/ej/daiji/kijun.files/0004_20180927.pdf, (参照2023.12.19)
- ・静岡県. “「やさしい日本語の手引き」”
https://www.pref.shizuoka.jp/_res/projects/default_project/_page_/001/015/583/tebiki.pdf, (参照2023.12.19)
- ・島根県・(公財)しまね国際センター. “「やさしい日本語の手引き」”
<https://www.sic-info.org/wp-content/uploads/2023/03/945c82eba33b4fe3e4f772acd4efac54.pdf>, (参照2023.12.19)
- ・福岡市. “「やさしい日本語」～日本人にも外国人にも住みやすく、活動しやすいまちづくりを目指して～”
<https://www.city.fukuoka.lg.jp/data/open/cnt/3/63597/1/sassi.pdf?20200116213347>, (参照2023.12.19)
- ・書けない人ほどあなどるもの 文章の基本のきー公募ガイドONLINE.
https://www.koubo.co.jp/tokushu/201403_1.pdf, (参照2023.12.19)
- ・弘前大学人文社会科学部社会言語研究室, “「やさしい日本語」で表現するカタカナ外来語・アルファベット単位記号用語辞典(カテゴリー対応)”,2018,
<https://easy-japanese.jp/howto/wp-content/uploads/2020/11/2018%E3%80%8C%E3%80%8C%E3%82%84%E3%81%95%E3%81%97%E3%81%84%E6%97%A5%E6%9C%AC%E8%AA%9E%E3%80%8D%E3%81%A7%E8%A1%A8%E7%8F%BE%E3%81%99%E3%82%8B%E3%82%AB%E3%82%BF%E3%82%AB%E3%83%8A%E5%A4%96%E6%9D%A5%E8%AA%9E%E3%83%BB%E3%82%A2%E3%83%AB%E3%83%95%E3%82%A1%E3%83%99%E3%83%83%E3%83%88%E5%8D%98%E4%BD%8D%E8%A8%98%E5%8F%B7%E7%94%A8%E8%AA%9E%E8%BE%9E%E5%85%B8%E3%80%8D.pdf>, (参照2023.12.19)
- ・弘前大学社会言語学研究室. “「やさしい日本語」作成のためのガイドライン”
https://www.fdma.go.jp/singi_kento/kento/items/kento207_20_sankou5-6.pdf, (参照2023.12.19)
- ・文化審議会国語分科会. “新しい「公用文作成の要領」に向けて(報告)”,
https://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkashingikai/kokugo/hokoku/pdf/92968501_01.pdf, (参照2023.12.19)

※これらの参考文献は、このガイドライン全体の作成にも使用しています。

各ガイドラインの概要とポイント

ガイドライン	概要	特に参考にできるポイント
<p>出入国在留管理庁 ・文化庁 『在留支援のための やさしい日本語 ガイドライン』</p>	<p>書き言葉に焦点を当てたガイドラインです。やさしい日本語作成のための大まかなステップと、それぞれのステップにおけるポイント、書き換えツールについて知ることができます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・やさしい日本語化のための手順 ・書き換え例
<p>横浜市 『「やさしい日本語」で伝える 分かりやすく 伝わりやすい日本語を目指して』</p>	<p>やさしい日本語作成の際のルールが詳細にまとめられているため、そのルールに沿ってやさしい日本語化を実践することができます。また、別冊の例文集で具体的に説明されています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・難しい文法の言い換え ・助詞・接続詞の言い換え
<p>静岡県 『やさしい日本語の手引き』</p>	<p>やさしい日本語化のための14個のルールが説明されています。簡潔にまとめられており、また例文も記載されているので具体的でとても分かりやすいものとなっています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・あいまいな表現の言い換え ・難しい文法の言い換え ・時間や年月日の表記 ・漢字のルール
<p>島根県・（公財） しまね国際センター 『やさしい日本語の手引き』</p>	<p>やさしい日本語を作成するためのステップと例を簡潔に知ることができます。書き換え例を確認することができます。「やさしい日本語」の使い方に関して、具体的なイメージを持つことができます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・表記方法も含めた、場面別の書き換え（言い換え）、表示・案内などの書き換え例 ※付録も含む
<p>福岡市 『「やさしい日本語」～日本人にも外国人にも住みやすく、活動しやすいまちづくりを目指して～』</p>	<p>やさしい日本語化に関するポイントが簡潔にまとめられています。また、用語集もあり、場面ごとの言い換え例が豊富に紹介されています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・やさしい日本語化のポイント ・用語集の場面別の言い換え例 ・レイアウトを含めた書き換え例
<p>弘前大学 社会言語学研究室 『<増補版> 「やさしい日本語」 作成のための ガイドライン』</p>	<p>やさしい日本語作成に関するルールと例文、書き言葉・読み言葉それぞれにおける注意点、分かち書きのルールがあります。レイアウトに関して、イラストや記号の注意点も書かれており、外国人に正確に伝わるための方法を知ることができます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・分かち書きのルール ・イラストや記号について

わたしたちの やさしい日本語ルール まとめ

ルール	ページ
文章の構造に関するルール	
①主語に気をつける	15
②目的語を述語の直前に置く	16
③一文は短くする	16
④あいまいな表現はしない	17
⑤難しい文法は使わない	18
⑥文末表現は「です・ます」で統一する	19
⑦難しい助詞・接続詞は言い換える	20
言葉の表現に関するルール	
⑧よく使われる言葉や知っておいた方が良い言葉はそのまま使う	21
⑨外来語はなるべく使わない	21
⑩ローマ字は使わない	21
日時の表示に関するルール	
⑪時間は「午前・午後」を使って、12時間表記にする	22
⑫年月日の表記は「/」スラッシュを使わない	22
⑬時間・年月日の表記は「～」を使わない	22

①主語に気をつける

日本語は主語を省略することが多いため、外国人にとってわかりにくい文章になってしまふことがあります。そのため、主語を省略している文章や、主語についている助詞に気をつけましよう。



Point

・助詞の「は」の使い方に注意する

例) ごみは分けて捨てます。

この場合、主語である「わたし」は省略されています。
「わたし」が省略されていない文章を考えてみましょう。

(わたしは) ごみを 分けて 捨てます。

省略されていた主語を置くと、「ごみは」の部分が「ごみを」となりました。外国人は日本語を学ぶ際に、主語がある文章で学ぶことが多いので、主語を省略しない文章を考えてみて、どの助詞となるのか気をつけましよう。

・主語の後の助詞は「を・が」を使う

「は」は用法が多いため、主語の後の助詞には「を・が」をできるだけ使用するようになしましよう。

・主語が読み手の場合、「あなた」を使用する

主語が読み手となる際は、主語を「あなた」としまししよう。「あなた」が無くても文の意味が伝わる場合は、主語を省略することができます。

※読む文章をできるだけ少なくすることも、やさしい日本語の一部です。そのため、イラストなどで主語が明確な場合には、主語を省略することもできます。

②目的語を述語の直前に置く

目的語が述語から離れてしまう文章は、「何をどうするのか」が理解しにくく、難しい文章となってしまいます。できるだけ、目的語を述語の直前に置くようにしましょう。

例) ごみ袋は スーパーで 買うことが できます。

スーパーで ごみ袋を 買うことが できます。



Point

・語順に気をつける

いつ

どこ
で

誰が

誰に

何を

した

この語順になるように文章を考えると、伝わりやすい文章となります。

③一文は短くする

長い文章は読むのが大変であると同時に、意味を理解するのが難しいです。そのため、一文は短くし、言いたいことは「一文に一つ」を心がけましょう。



Point

・複数個の意味を伝えたいときは、文章を分けて箇条書きにする

例) スーパーにごみを持って行き、回収ボックスに入れましょう。

➡ ①スーパーに ごみを 持って 行きます。

②ごみを 集める 箱に 入れます。

・動詞は名詞化しない

動詞は名詞化せず、「誰が何を～する」の形で使用しましょう。

例) ごみ出し ➡ ごみを 出します。

・名詞を修飾する語は短くする

名詞を修飾する語を何度も使用した文は、文が長くなり理解が難しいです。文を分けたり、情報の取捨選択を行うことで短くしましょう。

例) これは、ごみの種類を表すマークが載っているカレンダーです。

➡ カレンダーに マークが あります。
ごみの 分け方で マークが 違います。

④あいまいな表現はしない

日本語は、あいまいな表現を使用することが多くありますが、それは外国人にとって理解が難しい文章になっています。あいまいな表現はできるだけ使わずに文章を作りましょう。



Point

・「くらい」「ごろ」「ほど」は使わない

「くらい」「ごろ」「ほど」のあいまいな言葉は使わず、できるだけ断定的な表現を使用しましょう。

・複数の意味を持つ表現は避ける

複数の意味を持つ言葉を使用することは避け、違う言葉に言い換えましょう。複数の意味を持つ言葉を使用する際には、漢字で表記するなど、意味が間違っていないように工夫しましょう。

気をつける？
or
人に警告する？

例) 注意してください



気をつけて ください

・断定的な表現が難しい場合は、「～かもしれません」を使う

どうしても断定できない場合は、「～かもしれません」を使いましょう。

例) 火がつく可能性があります。



火が つく かもしれません。

⑤難しい文法を使わない



Point

・受身を使わない

受身の「れる・られる」は、可能の「れる・られる」と区別が難しいことに加え、文法構造を理解することが困難なため、使用しないでください。文法構造が簡単な、「○○が、～てある/～する」という文に変えましょう。

例) 住所が書かれた紙



住所が書いてある紙

ごみを捨てる日が決められています。 ➡ ごみを 捨てる日が 決まっています。

・過去形を使わない

できるだけ現在形を使用しましょう。

例) 野菜が入った袋



野菜が入っている袋

・1文の中に否定を2つ入れない

1文の中に否定を2つ入れると、二重否定という形になります。二重否定は、肯定なのか否定なのかが分かりにくいのです。そのため、二重否定の文は、肯定の文に書き換えましょう。

例) ホッチキスの針をつけたままでも、捨てられないことはないです。



ホッチキスの 針を つけたまま 捨てること が できます。

⑥文末表現は「です・ます」で統一する

外国人は、日本語を「です・ます」の形で学んでいることが多いです。そのため、文末表現は基本的に「です・ます」で統一しましょう。



Point

・指示表現は「～て ください」を使う

「～ましょう」には勧誘の意味もあり紛らわしいので、何かを指示する際には「～て ください」を使用しましょう。

例) 午前8時30分より前にごみを出しましょう。

➡ 午前8時30分までに ごみを出して ください。

・可能不可能は「～ことが できる」を使う

可能の「れる・られる」は変えましょう。

例) スーパーでもごみを捨てられます。

➡ スーパーでも ごみを 捨てること が できます。

・“時・際”を使う際は、「～とき、～。」を使う

例) ごみを出す際は、①～③のルールを守ってください。

➡ ごみを 捨てるとき、①～③に 気をつけて ください。

⑦難しい助詞・接続詞は言い換える



Point

難しい助詞・接続詞は言い換えるか、2文に分けることでその助詞や接続詞を使用しないようにするなど、工夫しましょう。

	言い換え
または もしくは	・か ・や ・「、」でつなぐ
～より（理由を表す） ～ため	・～だから、・・・ or ・2文に分ける
～のみ	・～だけ
～な場合、～際	・～とき、・・・
～について	・～は、・・・

・場所・方向を表すときは「～へ」を使用する

場所や方向を表す際には、「～へ」を使用しましょう。

例) 地域交流センターに行きましょう。

➡ 地域交流センターへ 行ってください。

参考

助詞などの言い換えリストは横浜市のガイドラインを参考にできます。

横浜市 国際局政策総務課 市民局広報課. “「やさしい日本語」で伝える 分かりやすく 伝わりやすい日本語を目指して”

https://www.city.yokohama.lg.jp/lang/residents/ej/daiji/kijun.files/0004_20180927.pdf, (参照2023.12.19)

言葉の表現に関するルール

⑧よく使われる言葉や知っておいた方が良い言葉はそのまま使う

日本で生活するうえで、よく使われる、知っておいた方が良いと思われる単語や表現、名称は、無理にわかりやすく言い換える必要はありません。よく見かけるであろう言葉は、そのままの形で覚え、その後も認識できる方が、外国人にとって役に立つと考えられます。必要に応じてやさしい日本語での説明も付け加えるなど、工夫しましょう。



Point

・よく使われる漢字はそのまま使う

ただし、ふりがなは全てにつけておきましょう。

・ふきだし・注釈などで、やさしい日本語での説明を付け加える

例) 大家さん、不動産会社の 人、近くに 住んでいる 人に 聞きましょう。

いえ か ひと
=家を 貸す人

いえ しょうかい みせ ひと
=家を 紹介する 店の 人

・イラストを活用する

日本語は理解できなくても、イラストがあることで理解できるものもあります。やさしい日本語で説明することが難しい名称などには、イラストを積極的に活用しましょう。

例) スプレー缶 かんでんち 乾電池 モバイルバッテリー



⑨外来語はなるべく使わない

外来語は、原語と意味や発音が異なるものもあるため、カタカナで表記しても理解できない場合があります。可能な限り言い換えるもしくはやさしい日本語での説明を付け加えるなどしましょう。

参考 外来語を言い換える際に参考にすることができます。

『「外来語」言い換え提案』国立国語研究所「外来語」委員会

『「やさしい日本語」で表現するカタカナ外来語・アルファベット単位記号用語辞典（カテゴリー1対応）』弘前大学人文社会科学部社会言語学研究室

⑩ローマ字はなるべく使わない

ローマ字の読み方は、外国人が正しく読むことが難しい場合があります。ローマ字を使わざるを得ない名称等を除き、可能な限りローマ字表記を避けるようにしましょう。

日時の表記に関するルール

①時間は「午前・午後」を使って、12時間表記にする

例) 17:00



午後5時

②年月日の表記は「/」（スラッシュ）を使わない

国・地域によって、スラッシュを用いた日時表記の仕方は異なります。
(例えば 日本: 2023/12/31、アメリカ: 12/31/2023、イギリス: 31/12/2023)
混乱することがないように、年月日を表記する際はスラッシュを使わないようにしましょう。



Point

・「〇〇 (←西暦) 年〇月〇日」という表記にする

例) 2023/12/31
令和5年12月31日
R5.12.31



2023年12月31日

③時間、年月日の表記は「~」を使わない



Point

・「△△~〇〇」ではなく、「△△から〇〇まで」という表記にする

例) 2023年12月30日~2023年12月31日 → **2023年12月30日から
2023年12月31日まで**

例) 16:00~17:00 → **午後4時から午後5時まで**

3. 「やさしい日本語」判定ツールの活用

作成した文章が、実際にやさしい日本語になっているかどうか、やさしい日本語の判定ツールを用いて確認することができます。本来であれば、専門家や実際にターゲットとなる方に、作成した文章が「やさしい」かどうかを確認してもらうことが有効ではありますが、それを全て行うには時間がかかり、難しい場合もあると思います。その場合は、判定ツールを用いることで、語彙や漢字、文法のレベルなどを把握し改善することで、より読み手が理解しやすいやさしい日本語を作成することができます。このガイドラインでは、代表的なツールとその概要、私たちが気づいたポイント等を紹介します。

代表的な判定ツール

ここでは、4つのやさしい日本語判定ツールを紹介します。

● やさしにちチェッカー

文章全体のやさしさ、項目ごと（語彙、漢字、硬さ、長さ、文法）のやさしさを、独自の基準で判定してくれます。項目によっては、難しいと思われる箇所を示してくれます。

● JReadability（日本語文章難易度判定システム）

文章難易度、項目ごと（語彙、品詞、語種、文字種）の構成比や難易度を判定してくれます。500～1000字程度のまとまった文章の難易度を推定するものとしての使用が想定されています。

● やんしす

文章中の難しい部分の判定に加え、言い換えのポイント等も示してくれます。ダウンロードして使用することができます。

● リーディング・チュウ太

文章全体のやさしさ、語彙・漢字のレベルを判定してくれます。語彙・漢字のレベルについては、日本語能力試験のレベルを基準に示してくれます。



ツールを使用するときのポイント

・名称等そのまま使う

名称等は、ツールによる判定で難易度が高いと判断されることがあります。しかし、代表的なルールでも示したように、**言い換えられない言葉**（固有名詞・どうしても読み手に憶えてもらいたい日本語）は、無理をして言い換える必要はありません。注釈としてやさしい日本語で説明を入れるか、イラストを入れて内容を伝えましょう。

・分かち書きはしない

判定ツールでは、分かち書きによる分かりやすさへの影響はないと考えられます。判定ツールを入力する文章は分かち書きせずにかけてください。分かち書きの書き方は、p.27の分かち書きの方法についてを読んでください。

・句点「。」を入れる

判定ツールの中には、改行を文章の終わりとして認識しないものがあります。各文章のやさしさを適切に判定し確認するために、句点「。」を入れましょう。

・慣用句的な表現や、珍しい意味で使われている単語に注意する

代表的ではない意味で使われる言葉は、正しく判定されない場合があります。このような珍しい意味は学んでいない日本語学習者も多いため、他の単語で言い換えましょう。

例1) 緊張の糸が**切れる**（意：張りつめていた気分がふっと緩む様子）
水を**切る**（意：水が残らないように落とす）

➡ この「切る」は「紙を**切る**」の意味で判定される場合があります。

例2) ごみを**出す**（意：ごみをまとめて、収集場に捨てる）

➡ この「出す」は「鞆から荷物を**出す**」の意味で判定される場合があります。

各ツールの特徴

	やさいち チェッカー	Jreadability	やんしす	リーディング・ チュウ太
(文章全体の判定 総合判定) の有無	○	○	×	○
評価項目	語彙レベル 漢字レベル 硬さレベル 長さレベル 文法レベル	語彙レベル構成 品詞構成 語種構成 文字種構成	難しい単語 難しい文法 文の長さ	語彙レベル 漢字レベル
文章量	制限なし	500 から 1000字	制限なし	制限なし
使う場面or タイミング	項目ごとに 難易度を 知りたいとき	項目ごとに 難易度を 知りたいとき	表現・言葉の 言い換えを 知りたいとき	変えるべき 言葉・漢字を 知りたいとき
QRコード	Webサイト 	Webサイト 	無料ソフトウェア 	Webサイト 

4. フォントの種類、ふりがな、分かち書き

フォントの種類

できるだけユニバーサルデザインに配慮したUDフォントを使用すること、かつ仮名文字の「き」と「さ」がくっついていないものを選ぶことに気をつけると良いでしょう。

「UD デジタル 教科書体 NK-R」を推奨します。

(※尚このガイドラインでは、便宜上「UDモトヤシーダ」を使用しているため「き」と「さ」がくっついています。)

ふりがな

全ての漢字にふりがなをつけましょう。

言葉を知っていても漢字がわからないような場合にも、ふりがながあることで理解することができたり、自分で検索して調べたりすることができます。

フォントサイズ
(本文20:ふりがな11)

かんじ
漢字

フォントサイズ
(本文15:ふりがな9)

かんじ
漢字

フォントサイズ
(本文12:ふりがな7)

かんじ
漢字

(UD デジタル 教科書体 NK-R)

①ふりがなの大きさ

上の例を参考にしてみてください。

一般財団法人東京都つながり創生財団の行った調査¹によると、本文のフォントサイズを12にした場合、ふりがなのフォントサイズは7が最も読みやすいという結果が出ています。上記では、フォントサイズの異なる3つの漢字を紹介していますが、**本文のフォントの大きさは10～12が一般的なため、ふりがなの大きさは7前後が適切**です。

②ふりがなと漢字の間隔

一般財団法人東京都つながり創生財団によると、ふりがなと漢字の間隔は、オフセット0が最も読みやすいという回答が最も多いという結果が出ています。

Wordなどの文書作成ツールを使用する際にはオフセットの設定を0に、もしオフセットの設定がないツールを用いて作成する際には、**漢字とふりがなが重ならないように気をつけ、間隔はできるだけ狭くしましょう。**

③ふりがなの位置

それぞれの漢字の上につけることを心掛けましょう。

文書作成ツールの均等割り付けにすると、漢字と漢字の間にふりがなが配置されることがあります。その場合は、まず全角で間隔をあげ、その後半角で調整しましょう。

上記のフォントサイズ本文15、ふりがな9の位置が最も理想です。

参照：一般財団法人東京都つながり創生財団

「やさしい日本語を活用した 在住外国人への情報伝達に関する調査」

https://tabunka.tokyo-tsunagari.or.jp/info/files/02reports_communication.pdf (参照2023.12.21)

分かち書き

弘前大学社会言語研究室「<増補版>『やさしい日本語』作成のためのガイドライン(2013年)」より https://www.fdma.go.jp/singi_kento/kento/items/kento207_20_sankou5-6.pdf (参照2023.12.21)

ルール1 文節で余白を空けて、区切る

基本的には、**自立語**の前で区切ります。

「文章は自立語と付属語で構成されており、文節は自立語のみ、もしくは、自立語と付属語で構成されています。**自立語**とは、その語だけで意味を持ち、文節を構成することができる語のことです。**付属語**とは、その語だけでは文節を構成することができない語のことです。」

例) ごみ が あります
自 +付 自

※自…自立語、付…付属語

ルール2 「つなげる語群」は分かち書きにしない

基本的には、**自立語**の前で区切りますが、例外があります。

「自立語である名詞・動詞・形容詞には、その語本来の意味や独立性が弱まっているもの（補助動詞・補助形容詞・形式名詞）などがあります。」

例) 「痛くなる」の「なる」は補助動詞、「壊れやすい」の「やすい」は補助形容詞です。これが、「つなげる語群」です。「**つなげる語群**」とは、「やさしい日本語」の文において、前の語と必ず接続することばのグループのことです。」

つなげる語群一覧

～おく、～ある、～みる、～いる（状態を表すもの）、～くれる
～しまう、～する、～いく、～くる、～あげる、～なる
～やすい、～にくい、～ない（「ぬ」に言い換えられないもの）
こと、ところ、とき、もの、人、～のよう、～のため、くらい
※気をつける、～かもしれない

例外ルール 「ください」「ところ」は分かち書きにする

「『ください』は独立性が弱まっている補助動詞ですが、前の節につなげると一文節が長くなってしまいますので、分かち書きをしています。」

また、「ところ」は時間の一地点を示す使い方ではなく、場所を示す使い方をする場合がほとんどで、語の独立性はそれほど弱くないと考えられ、分かち書きをしています。」

その他

このページでは、弘前大学社会言語研究室が作成した「<増補版>『やさしい日本語』作成のためのガイドライン（2013年）」で書かれているルールとは異なる、私たちが独自に考えた分かち書きのルールを紹介します。

①「～がない」は分かち書きにする

「～ない」は、語の独立性がそれほど弱くないと考え、「～がある」と同様に「～が」の後で、分かち書きにすることにしました。

例) ごみを捨てる箱がないとき → ごみを 捨てる箱が ないとき

②連体修飾語は分かち書きにする

連体修飾語とは、**体言（名詞）**を修飾する語のことです。連体修飾語には主に3つのグループがあります。日本語の教科書の多くが、以下のように記載しているため、参考にしています。

(1) 連体詞で修飾する

体言（名詞）を修飾する語（活用ができない語）

例) **大きな** 袋、**たくさんの** 本

例外 指示語（こそあど言葉）は分かち書きにしない

指示語が指しているものをわかりやすくするために、分かち書きにしないことにしました。

例) その箱に捨ててください。 → **その箱に** 捨てて ください。

(2) 形容詞で修飾する

例) **透明な** 袋、**きれいな** 瓶

(3) 動詞で修飾する

例) **捨てる** 箱、**住んでいる** 人

③日付や頻度を表す表現は分かち書きにしない

例) 1か月に1回、午前8時30分

5. 体裁、見た目を整える

文章全体において、共通の意味を示す表現が同じ言い回しになっているかどうか、また文体が統一されているかどうかを確認しましょう。

それ以外に、視覚的な工夫として、イラストの使用やレイアウト（文章の構成およびイラストの配置）が適切であるか気をつけてください。参考にできるポイントは以下の通りです。

①イラストの使用

文章に加えてイラストを使用することで読み手の負担を軽減し、より情報が伝わりやすくなります。しかし、使用する際にはいくつか注意しなければならないポイントがあります。

まず、自作のイラスト以外でほかの素材サイトなどから引用する場合は、**著作権の規定**について必ず確認しておく必要があります。

ちなみに私たちは、**経済産業省の「ごみイラスト素材集」といらすとやのフリー素材**を使用しました。前者の場合は、イラストを使用したことを明記しなければなりません。

また、フリー素材である後者の場合でも**使用できる数に制限**があるので、制限を超えていないか気をつける必要があります。

そのほか、イラストの選び方についても注意する必要があります。

日本人が当たり前に扱うイラストでも、外国人にとっては実物を連想するのが難しいかもしれません。その対策として、**動作が分かるもの（手や足がついているなど）**や**日本語の教科書に掲載されているもの**を選択すると良いでしょう。

参照 経済産業省「ごみイラスト素材集」

<https://www.meti.go.jp/policy/recycle/main/data/illust/>（参照2023.12.10）

②写真（地図）の使用

私たちが作成した成果物である「**山口市 ごみ捨てカード**」p.4には、山口市の許可を頂き「**山口市 ごみ・資源収集カレンダー**」の一部のページを掲載しています。写真がある場合には、併せて説明も付け加えると良いでしょう。また、自治体などのホームページのリンクを載せる場合には、リンクと併せてQRコードを載せると、説明文を簡単にして、ホームページに進んでもらうことができます。QRコードはアプリ等を使用して簡単に作成することができます。

手続きなどを行う施設等の場所を説明する場合には（私たちの成果物では「**地域交流センター**」p.15）、地図またはイラストを使用するようにしましょう。簡易的な地図を作成する場合には、目印になる建物・看板を載せ、必ずふりがなをつけるようにしましょう。

私たちの成果物では、情報量の増加により読み手の負担が大きくなることを危惧して、地図の写真等は掲載していませんが、使用することを推奨します。

③レイアウトの工夫

最後に、完成物の全体的な見た目が分かりやすくなっているか確認することはとても大切です。以下の注意すべきポイントに気をつけてください。

注意すべきポイント

①読む側が**読みやすい手順**で構成を考えられているか。

②イラストとその近くにある文章の意味が対応しているか。

③**1ページ1情報**として理解できるか。
(※できるだけ、次のページを見ないと内容が理解できないことを避ける。)

④文のつながりを意識して改行できているか。

⑤理解できないマークがないか。
(例：肯定を表す「○」は、外国人に意味が伝わらない可能性があるので付けない。)

⑥説明書きが長く、**読む負担**が増えていないか。
(→説明文を入れたい場合は、本文の中ではなく、代わりに吹き出しなどをつけて説明すると見やすくなります。)

6. その他

フィードバックをもらう

最後に、もし身近にやさしい日本語の有識者がいれば、「やさしい日本語」の文を最終確認をしてもらいましょう。

他者からの客観的な視点で意見を頂くことで、気づくことができるポイントもあるためです。私たちは今回、大学の日本語教育を専門とする先生2名と協力者である協同組合維新様の担当者1名をお願いして、フィードバックを頂きました。

対象となる外国人にも意見を聞きブラッシュアップしましょう。

【裏表紙】 記載する内容

やさしい日本語ロゴマークの記載

私たちが作成した成果物である「山口市 ごみ捨てカード」の最終ページには、栃木県国際交流協会が作成した「やさしい日本語ロゴマーク」を載せています。これは「やさしい日本語」を使って作成されていることを読み手側に知ってもらい、まだあまり知られていない「やさしい日本語」の認知度を上げることが目的です。

使用する際は、利用規約の内容を十分に確認しましょう。下記ホームページからデザインをダウンロードすることができます。

参照 公益財団法人栃木県国際交流協会「『やさしい日本語』のロゴマーク」
<https://tia21.or.jp/3439.html> (参照2023.12.21)

右のマークが「やさしい日本語ロゴマーク」です。→



UDフォント使用の記載

UDフォントを使用する際は、「やさしい日本語」のロゴマークと併せてUDフォントを使用して作成したことを明記するとよいでしょう。文章で表記しない場合は、UDフォントマークが便利です。

使用する際は、利用規約の内容を十分に確認しましょう。下記ホームページからデザインをダウンロードすることができます。

UDフォントの使用については、本書p.26を参照してください。

参照 株式会社モリサワ「UDフォントマーク」
<https://www.morisawa.co.jp/fonts/udfont/mark/> (参照2023.12.21)

私たちが作成した、ごみ分別に関する言い換え例、その他行政手続きなどでよく使用されると考えられる表現の言い換え例について、以下のものを参考にし、言い換えリストとしてまとめました。

- ・愛知県. “「やさしい日本語」の手引き～外国人に伝わる日本語”
<https://www.pref.aichi.jp/uploaded/attachment/288127.pdf>, (参照2023.12.21)
- ・福岡市. “使ってみよう「やさしい日本語」～日本人にも外国人にも住みやすく、活動しやすいまちづくりを目指して～”
<https://www.city.fukuoka.lg.jp/data/open/cnt/3/63597/1/sassi.pdf?20200116213347>,
(参照2023.12.21)
- ・大阪府. “「やさしい日本語」用語集”
<https://www.pref.osaka.lg.jp/attach/38546/00000000/5.pdf>, (参照2023.12.21)
- ・横浜市国際局制作総務課 市民局広報課. “「やさしい日本語」で伝える 分かりやすく伝わりやすい日本語を目指して 第4版”
https://www.city.yokohama.lg.jp/business/nyusatsu/kakukukyoku/2024/itaku/nishi/kohoyokohamanishiku.files/0019_20231129.pdf, (参照2023.12.21)

ごみ分別に関連した表現

言い換える前	→	言い換えた後
引火する		火が つく
危険		危ない
コンテナ		ごみを 捨てる 箱
指定収集袋		(市町村の名前) のごみ袋
すすぐ		洗う
～製		～で できた もの
使い切る		全部 使う
透明な		中が 見える
はずす		取る
分別する		分ける
ポイ捨て		道に 捨てる
水を切る		水を 落とす
ルール		決まり/決まっていること

その他（行政からの文書などで使われる表現）

言い換える前	→	言い換えた後
お持ちですか？		ありますか？
検討する		考える
加入する		入る
必須		必ず
注意する		気をつける
連絡する		伝える
問い合わせる		分からないことを 聞く
更新する		新しくする
年末年始		○月△日から●月▲日まで
再度		もう一度/もう一回
健康診断		身体が 元気か 調べる
相談窓口		相談する ところ
不要		いらない

初心者でも作れる「やさしい日本語」実践のガイドライン

2024年2月7日 初版第1刷発行

企画制作・印刷 山口大学国際総合科学部
2023 協同組合維新PBL
岩永未有
上田佳奈
岡本葵
付澤南
三谷真依

協力 協同組合維新
